

1. 活動の概要

6月12日(火)、浜田市立雲雀ヶ丘小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。はじめに奈良時代のお金である和同開珎づくりをしました。和同開珎について説明を聞いた後、グループごとに役割を決め、コンロで合金を溶かし、緊張しながら鑄型に流し込みました。鑄型を開けて和同開珎の枝銭が現れると児童たちから歓声があがりました。

次に、奈良の大仏パネルに挑戦しました。パネルを並べる前に、奈良の大仏と同じ時代で浜田市内にある石見国府跡・石見国分寺跡について学びました。石見国分寺跡の発掘状況を聞き、出土した瓦を実際に見た児童たちは、とても興味を持った様子でした。

その後、体育館に移動して、大仏パネルに挑戦しました。6年生13名全員で協力してパネルを並べました。実物大の大仏パネルが完成すると、児童たちはその大きさに驚きました。

学習や体験活動をとおして、児童たちは歴史への関心が高まり、地元の文化財にも興味を持った様子でした。

2. 活動の様子

1) 古代体験活動～和同開珎づくり～



2) 古代体験活動～奈良の大仏パネル～

